

H30年10月2日(火)

テーマ：新人のための医療安全

講師：伊都香先生 和歌山労災病院

医療安全管理者 看護師長

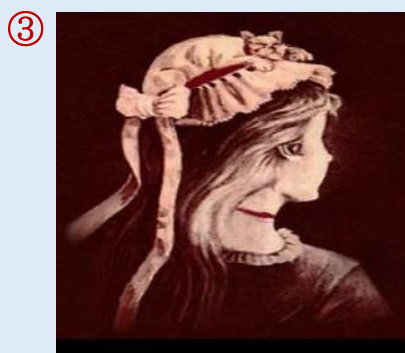
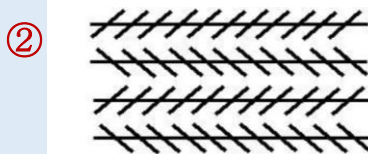
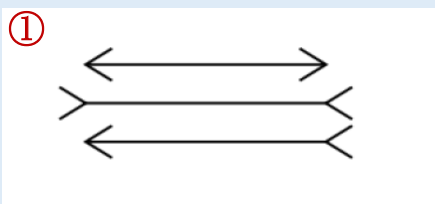
場所：看護研修センター

参加者：109名

エラーパターンの自己判断テストを行う。このテストで、自分のタイプがわかり、「何に気をつけないといけないか」を知ることから始まる。

受講生の皆さんはどのタイプでしたか？

脳の錯覚



皆さん、見たことありますか？

① 長さはそれぞれどうですか？

② 横棒はまっすぐ？

③ 何に見えますか？

注意力の低下、思い込みで人は間違えます！

間違えないためには

指差し呼称でエラーを防止しましょう！

ビデオで医療事故の様子を見て、受講生の方は命を守るために、常に気をつけないといけないことを学びました！

H30年10月10日(水)

テーマ：急変対応時のアセスメント —臨床推論—

講師：田中一輝先生 国保日高総合病院
救急看護認定看護師

場所：ビッグU

参加者：68名

「臨床推論とは…」から講義が始まる。研修会に担当してくれた教育委員の写真を使って、推論することを学んだ。写真が映され、これは誰でしょう？と問いかけられ、回答がわかると一斉に受講生が教育委員を見て、「あー！」と納得している。講義はいろいろと写真や例えをうまく使いながら、心理テストもしたりしながら楽しく進めてくれる。



午後からはグループワーク
講師も教育委員もラウンドして、アドバイスを。ラウンド途中で講師が「そのことをみんなに話して」と発表を促していた。

グループワークでは、スマホを使って調べながらディスカッション。

研修内容が病院での勉強会でも使える！
アンケートにも楽しく学べたとの回答があった。



H30年10月23日(火)

テーマ：子育てと仕事を両立できるワークライフバランスってどうするの？

講師：新谷まさこ先生 子育てと仕事.com 代表

中西信雄先生 一般社団法人ワーシヤル 代表理事

場所：看護研修センター

参加者：33名

「ワークライフバランス」どんなイメージですか？前後左右の座席の人と話し合い。ワークライフバランスとは幸せになることをあきらめないこと。そのためにはどうすればいいかを学んだ一日。

最初にゲームを行い、当たった人に先生から京都のお土産ランキングNo.1の顔パックを贈呈。そこからは皆さん和やかに研修が続いた。



前後左右の話し合い。そこから少しずつ打ち解けあって、ゲームで回答が当たると顔パックを贈呈された。もらった人の使った感想が気になります…

これが
職場の問題かるたです



新谷先生は和歌山の学校を卒業されたということで、和歌山の印象がいいそうです！



午後からはえんたくん（段ボールの机）を使ってかるた。一枚でも多く取ろうと必死でした。かるたの読み札にもうんうんと納得・共感しながら…

一日とても楽しい研修で、これから自分はどうすればいいのかを考えるヒントをもらい、気持ちに余裕を持つことができたなどの感想が聞かれた。

H30年10月24日(水)

テーマ：一般病棟で知りたい精神症状のある患者の理解とケア

講師：武用百子先生 和歌山県立医科大学 看護キャリア開発センター

副センター長 臨床教育准教授 精神看護専門看護師

場所：看護研修センター

参加者：45名

まずは、あちこち動き回ってお互いに自己紹介。

「気分障害とは?」「健康な憂うつ」「病的なうつ」どちらなのか見極めが大切ということから学習する。

その後「うつの人で食事の準備ができない人にどんな看護をする?」など隣の人と話し合いをしたり、ムービーを見て「産後うつ病の人の入院中から退院後の様子」について話合ったりした。



まずはあいさつから。
はじめまして。よろしくお願いします。



たくさんの資料やパンフレットを持参してくれました。

まんがで書かれたものもあり、わかりやすかった。

講義の最後の方では、熱弁で暑くなったのか、先生は半袖に。

この日は最も寒い一日だったのですが。

先生、お疲れ様でした



H30年10月30日(火)

テーマ： 苦手意識の克服 ー人工呼吸器ー

講師： 吹田奈津子先生 日本赤十字社和歌山医療センター
集中ケア認定看護師

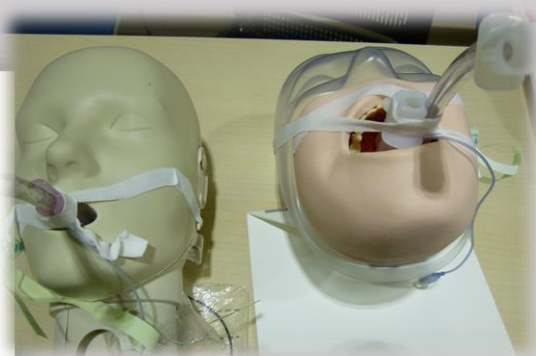
場所： 看護研修センター

参加者： 104名

「人工呼吸器が苦手な人は？」に対してほとんどの受講生が挙手をする。
そこで、先生から「好きになってください。」との一言から始まる。



一言一言を聞きませない、必死にノートに書き留める。
いつも以上にペンの音が会場に響いていた。



先生が病院から持参してくれたモデル。
受講生に回してくれて、手に取って挿管チューブの固定方法などを観察させてもらった。

受講生の皆さん、人工呼吸器を好きになったでしょうか？